館山
会議所だより

2016 新年特別号

会議所は企業の要、地域の灯
会員数934名

1月号 JAN. 2016 No.577

●平成28年1月10日発行（毎月1回10日発行）第577号●発行所／館山商工会議所●編集発行責任者／専務理事 和泉澤 薫●〒294-0047 千葉県館山市八幡821●TEL0470-22-8330 FAX0470-23-4011

新年のごあいさつ

実行力のある会議所に

館山商工会議所
会頭 杉井繁樹

新年明けましておめでとうございます。館山市民の皆様・会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より会議所活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

一昨年の4月より不肖、私が会頭の任に就き、副会頭には石渡和男氏・佐野義雄氏・髙橋幸民氏にお願いいたしました。そして昨年の4月より和泉澤薫氏に専務理事をお願いしました。まずは、執行部の結束が第一との思いから、正副会頭会議を月2回のペースで開催しております。運営方針として、副会頭の権限強化と責任分担制を実施しております。

毎年実施しております館山観光まつり花火大会におきましては、市民の皆様の絶大なるご協力・ご協賛をいただきまして盛大に実施させていただいております。心より感謝申し上げます。

館山商工会議所は、昭和28年に県下10番目の商工会議所として設立されました。現在は、約930社の会社・団体に加盟していただいております。会員の互選により60名の議員がおり、その中から20名の常議員と3名の監事が選出されます。任期は3年であり、私どもの任期は平成28年10月31日です。

今年度の重点事業として、

①経済3団体を中心とした館山市経済団体連絡協議会の設立

これは政策提言機能の強化と他団体との連携を模索するものであります。観光協会・商店会連合会と協力し、行政を巻き込んでの協議会を設立するものです。昨年暮れ12月に設立の運びとなりました。

②会議所の組織強化と部会構成の見直し

昨年度は委員会構成の見直しを実施し、新たに広報委員会と会員増強委員会を作りました。広報委員会は外部への情報発信を積極的に取り組み、会員が情報発信機能に係わろうということです。

また、会員の急激な減少が起きており、館山市全体で経済の回復を目指す、という思いを込めまして、会員数1000社への回復を目標として、会員増強委員会を発足いたしました。着実な成果を上げていただいており、本年も大いに期待しております。

③中心市街地活性化事業

商業まちづくり委員会を中心として、地道な活動を続けております。たいへん困難な課題でありますが、避けて通るわけにはまいりません。活性化への糸口が見出せることに期待するものです。

④商工会館の整備

今年度は、防衛施設周辺民生安定施設整備事業により、空調設備の改修を実施中であります。

⑤その他に、産業活性化委員会やマル経審査会など、活溌な事業を展開しております。

以上、今年度事業計画と進捗状況を報告させていただきました。各委員会の皆様には、とても一所懸命に活動していただいております。

地域経済としては、アベノミクス効果が出ているとは言いにくい状況であります。個人消費は相変わらず振るわず、設備投資もリーマンショック以前の水準で推移しており、その一方で大企業を中心とした企業業績は好調で、内部留保は山のように積み上げられています。

現在、わが国が直面している課題として、中国問題を除いては、一つは消費税増税、二つ目は人口減少による労働力不足、三つ目はマイナンバー制度かと思います。

①軽減税率の実施はとても難しく、一般的には無理かと思われます。そして一般税率10％になった場合、地方経済は一段と厳しい状況になりますので、中止の選択をしてもらいたいと思います。

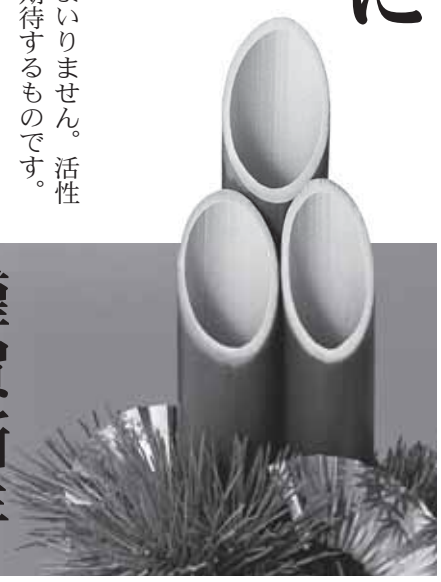
②リタイア層の再雇用や女性の働きやすい環境づくりを強化すべきと考えます。しかし、根本的なところは、若年層の実質賃金の低下と雇用の不安定化であります。そのために、若い人たちが安心して結婚出来ないということが問題なのであります。

③大きな目的は脱税の防止であります。悪い人・狡い人が得をする時代ではいけません。適格な運用をお願いするしだいであります。

今年は、私ども役員全体の区切りの年度となります。掛け声倒れにならないよう、実績をあげる努力をしてまいります。

現在会議所の職員は専務理事を加えまして、総員11名であります。年齢構成もたいへんバランスが取れており、全員が研修等に参加して、各自のレベルアップを図っております。経営や経理などでお困りのことがございましたら、何なりとご相談ください。必ずやお役に立てるものと確信しております。

館山市民の皆様、当会議所会員の皆様の今まで以上のご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝・各企業様の益々のご発展をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせて頂きます。



謹賀新年

館山商工会議所

名誉会頭
本間明

会頭
杉井繁樹

副会頭
石渡和男
佐野義雄
髙橋幸民

専務理事
和泉澤薫

常議員
伊豆倉和之
小滝周一
加藤克美
川名光俊
小林義和
小原貞雄
佐藤興二
館石正文
角田吉夫
原克己
廣井武雄
本間亨
丸淳一
丸善治
御子神徳重
三平金司
宮澤治海
望月眞
本橋亮一
山口正治

監事
川名克己

職員一同

新年あけましておめでとうございます

館山商工会議所
副会頭　**石渡和男**

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様や会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私、副会頭を拝命し就任三年目を迎えました。会員の皆様に、ご期待の持てる事業運営につとめ、今年は積上げてきた目標、実績、結果を評価される年と心引締まる気持ちで新年を迎えました。
国はアベノミクスで始まり、地方創生・一億総活躍社会を次から次へと政策を発表し、次の参議院選挙に向け国民に喚起を促している所です。私達館山市も、行政と商工会議所、車の両輪で難局に取組み、一歩一歩前進を図りながら国への陳情、県、館山市への要望を的確に把握しスピード感を持って対応していかねばならないと考えます。
しかし、私達地域経済は大変きびしい状況におかれています。少子高齢による人口減少、大型店との競合、事業継承者問題等々の経営環境が続いております。この状況を指をくわえて待ちの商法は打破し、攻めの経営環境に考えを変える、この事は昔から試されている商法です。事業主が経営が楽しい、努力が経営に繁栄する、変えた努力が報われる、市内の商・工・サービス業が明るく元気な環境作り、雇用を維持し、地域の活性化に取り組んでいくことを大事な仕事と考えています。会員の皆様による絶大なるご支援ご協力をいただき、行政関係諸団体との連携を密に地域の発展に努力してまいる所存です。
今年、会員の皆様方のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

館山商工会議所
副会頭　**佐野義雄**

明けましておめでとうございます。
会員および市民の皆さまには、希望に満ちた新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。
昨年、国は地方創生の方針を打ち出しました。地方の生産性を向上させ活力ある地域経済を実現させる政策は、当地においても喫緊の課題であります。当会議所はじめ諸団体、市民の皆さまの英知を結集して、館山市の創生事業に取り組んで参りたいと思います。今後とも一層のご支援ご協力をお願いいたします。会員および市民の皆さまにとりまして、本年が更なる飛躍の年となりますことを祈念申し上げます。

館山商工会議所
副会頭　**高橋幸民**

平成28年の新年を迎え、お喜びを申し上げます。
館山商工会議所に限らず各種団体や組合の会員事業所は、人口減少や高齢化社会により、顧客の減少や人手不足に直面しています。政府は、「一億総活躍社会」を掲げローカルアベノミクスの実現を目指しておりますが、地方に浸透するまで時間を要したり、選挙向けのアドバルーンだったりで、過度な期待は禁物でしょう。このような環境下では、地方の一商店や中小業者では限界があり、商工会議所が自主的かつ積極的に街づくりに関わっていくべきと考えます。
昨年を振り返りますと、私の担当する「商業まちづくり」は思いとは裏腹に前進を実感できない一年でした。
今年は、昨年のトライ&エラーから得た事が少しずつ形になり、前進できる年になると確信いたしておりますので、会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。
本年が、希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。

館山商工会議所
専務理事　**和泉澤　薫**

新春を迎え、市民の皆様や会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。また、日頃より館山商工会議所をご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。
昨年4月1日より杉井会頭の任命並びに通常総会におきましてご承認頂き館山商工会議所専務理事として就任し早や9ヶ月の月日が過ぎ、振り返り見ますと職務の重さ重要性に改めて身の引き締まる思いで御座います。
館山商工会議所と致しましても地元経済団体として、地域社会に少しでも貢献できるよう職員一丸となり努力してまいる所存でございます。
市民の皆様や会員の皆様には、これまでと変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

館山商工会議所
総務委員会
委員長　**御子神徳重**

新年明けましておめでとうございます。
会員ならびにご家族の皆様におかれましては、平穏な年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
当総務委員会は、商工会議所の政策、予算、機構等に関することを所管事項としております。その中で昨年度は、主に会議所活動の活性化を目指した委員会、部会構成の見直しについて検討を行ってまいりました。
部会構成については、これからまだまだ検討を重ねてまいりますので、時代の流れに沿った構成ができますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。
簡単ではございますが、新年のご挨拶とかえさせていただきます。

館山商工会議所
会員増強委員会
委員長　**山口正治**

新年明けましておめでとうございます。
昨年は当委員会にご指導、ご協力ありがとうございました。
当委員会は読んで字のごとく非常にわかり易い委員会です。しかしながら、現在の館山市の現状をみますと転廃業のため退会企業が少なくありません。上げ下げを計算しますとたいへんな責任を感じます。地域間競争は今に始まった事ではありませんが、南房総の中核都市の館山がしっかりしなければ、この地域の発展は望めません。そのためには会員を増強し、しっかりとした会議所ができますようお願い申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

館山商工会議所
広報委員会
委員長　**丸　淳一**

明けましておめでとうございます。
さて今年度杉井会頭より広報委員会の委員長をおおせつかりました。広報委員会の役目は、多くのみなさまに商工会議所とは「何をやっている所なのか、また商工業者や市民のみなさまにどのようなメリットがあるのか」をお伝えしていくのがその役目です。どうしたらより良くそのことをお伝えできるのか。昨年は5回の会議を持ち検討してきました。今年もより一層会議所が、みなさまのお役に立つよう努めて参ります。

館山商工会議所
金融委員会
委員長　**佐藤興二**

明けましておめでとうございます。
商工会議所の中には、我々商工業者のための中小企業相談所があり、専門に各種相談指導にあたっています。その柱の一つとして金融相談があり、事業所皆様の資金需要にお応えする為に、無担保・無保証人・低金利・利子補給制度ありなどで、会頭推薦に基づき融資可能となるマル経融資制度（小規模事業者経営改善資金）が用意されております。担当職員に、お気軽にご相談下さい。

館山商工会議所
労務委員会
委員長　**廣井武雄**

新年明けましておめでとうございます。
労務委員会では、「人・モノ・金」といった経営資源の中で最も重要とされる「人」に関連した、人材育成や労務管理、雇用の安定等について取り組んでおります。本年も、商工会議所のスケールメリットを活かした共済事業により、会員企業の経営者はもちろん、そこにお勤めされる市民の皆様の福利厚生対策に取り組む他、永年勤続優良従業員表彰や各種セミナーなどを行い人材育成にも注力し、館山市経済がこれまで以上に活性化するよう応援して参ります。
皆様にとりまして平成28年が幸多き年でありますよう、お祈り申し上げご挨拶と致します。

新年のごあいさつ

「笑顔あふれる 自然豊かな『あったか ふるさと』館山」の実現に向けて

館山市長 **金丸 謙一**

新年明けましておめでとうございます。

杉井会頭をはじめ館山商工会議所役員並びに会員の皆様方には、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、地域経済の重要な担い手として、商工業の振興・発展はもとより、市政全般にわたり、格別なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、地方創生が叫ばれる中、七月に、館山市商業協同組合をはじめ、館山商工会議所や館山市商店会連合会の皆様方にもご協力いただきながら、地域消費喚起や生活支援を目的として、三億六千万円分の「プレミアム商品券」三万セットを発行し、完売いたしました。市内に流通することで、地元消費の拡大が図れたものと考えています。今後とも、皆様方とともに、地域経済の活性化につながる事業を積極的に展開してまいります。

さらに、十月には、人口減少問題の克服と地方創生の実現のため、平成二十七年度から三十一年度を計画期間とする『館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定いたしました。本戦略では、館山市の強みを活かし、「海の魅力に磨きをかける」「食の豊かさで人をひきつける」「若者の夢と希望をかなえる」「未来に誇れるふるさと愛をはぐくむ」の四つを基本目標に掲げ、『しごと』の創出を最重点とし、館山市への『ひと』の流れを生み出し、幅広い世代が「住み続けたい」と思える、安全・安心で、持続可能な『まち』づくりを目指してまいります。

さて、本年は、「第四次館山市総合計画」のスタートの年でもあります。特に、前期基本計画では、「海・食・若者・ふるさと」をキーワードに、『総合戦略』と密接に関連付け、実効性の高い取組を進めてまいります。

まず、『海の魅力アッププラン』としては、桟橋形式としては日本一の長さを誇る『館山夕日桟橋』、館山駅西口地区の南欧風の街並みと一体となったシンボルロード『鏡ヶ浦通り』に加え、地元物産品の販売や絶好のロケーションを活かしたレストランなどが整備され、昨年末には、「館山おさかな大使・さかなクン」が名誉駅長に就任した『渚の駅 たてやま』など、豊かな自然と館山湾を活かした個性と魅力ある「海辺のまちづくり」が着実に進展しております。

東京湾アクアラインを活用した道路交通網の整備促進はもとより、館山港を南房総の海の玄関口と位置付け、交流人口の増加を図るためにも、引き続き、港湾管理者である千葉県に『館山夕日桟橋』の拡張を要請し、トップセールスによる大型客船や帆船など多様な船舶の寄港誘致をさらに強力に推し進めるとともに、この海辺のエリアを核として、城山公園や船形漁港のふれあい市場などの施設と連携させることで、さらなる活性化を図ってまいります。

また、海と暮らすライフスタイルを提供することで移住・定住促進や事業の展開を図るとともに、マリンレジャー関連産業等の誘致を積極的に推進し、人の流れ、経済の流れを創り出すことで、相乗効果による経済の活性化を目指してまいります。

『２０２０年東京オリンピック・パラリンピック』に向けては、昨年七月に設立しましたゴールドメダリストの田村悦智子さんを本部長とする『館山市推進本部』とともに、市民をはじめ観光、商工、医療等様々な分野を含めた「オールたてやま」で、館山湾をはじめとする豊かな自然環境や既存施設などを最大限に有効活用し、事前キャンプ誘致などスポーツ観光を推進することにより、未来の市民が誇りに思うレガシー（遺産）を創造し、継続的な市の活性化を目指していきます。

次に『食の豊かさアッププラン』としては、「たてやま食のまちづくり計画」に定めた地産地消による流通システムを構築することにより、六次産業化やブルー・グリーンツーリズムを推進し、新たな雇用の確保や交流人口の増加を目指します。

さらに『若者の元気アッププラン』については、子育て世代の経済的負担の軽減による支援の重要な施策である『子ども医療費の助成』について、中学三年生までの通院医療費の助成拡充を目指してまいります。

そして『ふるさとへの誇りアッププラン』では、安全・安心で持続可能なまちづくりを目指す観点から、「災害に強い安心・安全なまちづくり」を実現するために、地域防災力の強化、災害対応力の強化を図るとともに、防災行政無線のデジタル化など、市民の皆様に正確な情報を伝える取り組みを進めてまいります。

また、津波からの避難路としての役割はもとより、浸水解消や通学環境の改善を図る『船形バイパス』は、用地買収や物件補償など、順調に事業が進展しておりますので、今後とも、『国道１２７号館山バイパスの四車線化』の促進とあわせ、道路ネットワークの構築を進めることで、地域住民や観光客の利便性を向上させます。

本年も、皆様とともに、将来都市像である「笑顔あふれる 自然豊かな『あったか ふるさと』館山」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、今後とも、市政に対するご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方にとりまして、本年が希望に満ちた飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

館山市の活性化に関する重要課題について県へ要望！

森田知事を交えて意見交換を実施

～平成27年度千葉県内商工会議所会頭・副会頭会議を開催～

千葉県商工会議所連合会では、平成27年11月19日（木）に県内21の商工会議所会頭・副会頭による会議を、森田健作千葉県知事を筆頭に県庁部課長をお招きして開催した。会議の席上、各地域における重要課題をそれぞれの正副会頭が直接要望し、森田知事や関係部課長よりそれぞれ回答を頂いた。

当所からは、石渡和男副会頭、和泉澤薫専務理事が出席し、館山市の活性化において、千葉県による早急な取組みが求められる地域の課題として、①幹線道路の整備について②「館山港多目的観光桟橋」の機能強化、③ＪＲ特別快速及び特急列車の運行、の3点について要望した。

具体的には、「交通網の整備」関係として、①南房総地域のポテンシャルを最大限に発揮させる幹線道路の整備について要望したところ、以下のような回答をいただいた。

◇館山自動車道の４車線化早期完成について

館山自動車道の木更津南ジャンクションから富津竹岡インターチェンジ間については、本年1月から4車線化の工事に着手したところである。現在、高速道路会社では、平成30年度の完成に向け、防護柵の設置や、拡幅部の盛土及び切土工事などを進めており、今後、天羽トンネルの掘削工事に着手する予定と聞いている。

県としては、4車線化工事が円滑に進むよう、沿線市などと組織する事業調整会議を活用し、引き続き、高速道路会社に協力しいく。

◇富津館山道路の４車線化について

県としては、館山自動車道の4車線化工事が進展していくなかで、富津館山道路の4車線化が早期に具体化されるよう、引き続き、国及び高速道路会社に働きかけていく。

◇国道１２７号の整備促進について

一般国道127号館山バイパスについては、那古から川名地区の約1．4㎞において、右折レーンの設置や直進車線の増設などの交差点改良事業が進められ、本年8月に完成したところである。

県としては、残る川名地区から富浦インターチェンジ間についても、引き続き機能強化が図られるよう、国に働きかけていく。

◇船形バイパスの早期完成について

船形バイパスは、南房総の主要な観光拠点とインターチェンジを結び、地域活性化に寄与する重要な幹線道路と認識しており、現在、市と県が共同で整備を進めているところである。

このうち、市整備区間は都市計画道路として、市が昨年度から国の交付金を活用し事業に着手している。

また、県整備区間は県道犬掛館山線のバイパス事業として、昨年度に用地測量及び地質調査を実施し、今年度は、用地買収に着手することとしている。

今後とも、市と連携を図りながら、事業の推進に努めていく。

◇館山・鴨川道路の早期事業化について

館山・鴨川道路については、交通需要の推移や周辺道路の整備状況等を勘案しながら、防災面も含め緊急性や整備効果の高い区間の検討を進めていく。

◇東京湾口道路の早期具体化について

東京湾口道路は、房総半島と三浦半島を結ぶ地域高規格道路であり、地域の利便性の向上や経済の活性化などを図る上で、重要な道路であると認識しており、実現に向けた画期的な技術開発など調査について、国に働きかけているところである。また、国が定める国土形成計画において、湾口部、海峡部等を連絡するプロジェクトについては、長期的視点で取り組むとされていることから、その動向を注視していく。

次に、「地域開発・地域振興」関係として、②多様な船舶の一時寄港が可能となるような「館山港多目的桟橋」の機能強化について要望した。

この要望事項に対し、県からの回答は以下のとおりであった。

館山港多目的桟橋については、平成22年4月25日に供用開始し、地元の方々の熱意によって、大型クルーズ船の寄港やイベントなどに盛んに活用されているところである。桟橋の機能強化については、現在小型船舶は桟橋中間部にあるマイナス3．0ｍ物揚場に接岸できるが、同時係留は1、2隻に限られていることから、利便性の向上を図るためマイナス3．0ｍ物揚場の増設を予定している。

これまで基礎調査及び基本設計を実施し、平成27年度は工事実施に向けた詳細設計を行う予定である。多目的桟橋のエプロン部拡幅・延伸については、桟橋の利用状況や需要の増加等を勘案しながら、検討していく。今後も地元と協力しながら地域振興に向けた館山港の整備に努めていく。

最後に「交通網の整備」関係として、③館山市を中心とした南房総地域観光圏における一層の観光振興推進と交流人口拡大を実現するため、首都圏から当地域へのスムーズで安全、定時性を保ったアクセスを可能とする　特別快速及び特急列車の運行について要望した。

この要望事項に対し、県からの回答は以下のとおりであった。

内房線は、沿線の地域住民の日常生活はもとより、「観光立県千葉」の実現に向けて極めて重要な路線であり、これまで実施した観光キャンペーンにおいても大切な役割を担った路線の一つである。

ＪＲ東日本によると、特別快速列車の基本編成（11両）の館山乗り入れについては、ホーム設備の延伸等が必要となるため、列車の増発とともに、今後の利用状況をみて検討するべき課題と考えているとのことである。

本年8月26日に行った「千葉県ＪＲ線複線化等促進期成同盟」のＪＲ東日本に対する要望においては、沿線市町村による誘客・地域活性化の取組も紹介しながら、ＪＲ東日本に対し協力を要請したところであるが、今後とも沿線市町村と連携をとりながら、粘り強く働きかけてまいりたいと考えている。

以上のように、当所より提出した要望に対し千葉県から回答がなされた。当所では今後も、館山市ならびに関係団体と連携・協力しながら、地域活性化や市民生活の発展に資する重要課題の実現を目指し、商工業者を中心とした市民の意見を集約し、背局的に具申していく。

商工会議所のヒミツ

しっかし不景気だなあ。

まったくだ。国には、もうちょっと中小企業の身になってもらいたいよ。

ま、こんな場末の店でぼやいてたって、国にオレたち中小企業の声が届くわけないけどな。

どうせ、場末の店ですよ。

おおマスター、いじけるなよ。悪気はないんだ。いい意味で場末の店ってことさ。

全然フォローになってませんが…、お客さん、よかったら中小企業の声で国を動かす方法を教えてさしあげましょうか。他の人にはヒミツですよ。

えっ、マジで？

マスター、悪いけど超常現象には興味ないぜ。

ホッホッホ、私が言いたいのは、商工会議所のことですよ。

商工会議所？ありゃ、政府の御用機関かなんかだろ？そんなとこが国を動かせるなら誰も苦労しないって。

完全に誤解されてますな。そもそも商工会議所は、国がつくった機関じゃありませんぞ。

じゃあ誰が？

明治11年、わが国の資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一翁を中心に、実業界を代表する面々が自主的に集まってつくったんです。商工業者の声を国の政策に反映させるために、ね。

てことは、明治時代から民間企業の味方として国を動かしてきたってことなのかい？そりゃビックリだな！

オレはむしろ、マスターが意外に物知りなことにビックリしたんだけど。

ず、ずいぶん失礼ですな。

でもさ、どうせ国から補助金とか、いっぱいもらってるんだろ？それじゃ言いたいことも言えないって。

いいえ、商工会議所の活動のほとんどは自主財源でまかなわれているそうですぞ。

そ、そうなの？

しかも商工会議所は日本企業の代表として、海外の政財界の要人との民間外交も展開してますぞ。また、全国514の商工会議所は、地域社会に貢献するために、伝統的なお祭りやイベントの運営にも携わっているんです。

世界経済にも地域社会にも幅広く貢献してるってワケね。だから、国も商工会議所の意見には耳を傾けると。

やれやれ、やっとわかってくださいましたか。

つまり、おれたち中小企業の声で国を動かしたいんなら、こんな場末の店でクダを巻くより、商工会議所に相談に行くべきってことだな。

場末、場末としつこいですな…。それより、なにか追加でご注文いただけませんか？

そんなヒマはないよ。これから早速、商工会議所に相談に行かなくっちゃ！

商工会議所を知ってもらうキャンペーン　http://www.jcci.or.jp/secret/

秘

TOP SECRET

商工会議所のヒミツ

それは「企業と地域の応援団」

商工会議所は、日本の企業と地域を元気にしたいと願う民意の結晶から生まれた経済団体。
国や自治体につくられた機関ではありません。
きょうも全国514の会議所が、日本経済の明日を拓くための取り組みを続けています。

商工会議所を知ってもらうキャンペーン

詳しくはお近くの商工会議所へ。

㈱アスカ館山店 代表取締役 丸 淳一	株式会社石井工務店 代表取締役 石井 英之	㈲石井商店 代表取締役 石井 達哉	協豊自動車工業株式会社 代表取締役 石渡 保男	幸田旅館 代表取締役 幸田 和枝	㈲小林貴金属店 代表取締役 小林 義和	株式会社さとう 代表取締役 佐藤 興二	佐野司法書士事務所 所長 佐野 義雄	株式会社集賛舎 代表取締役 島 正彦	白子屋酒店 加藤 克美
株式会社杉井工業所 代表取締役 杉井 繁樹	株式会社東光 代表取締役 石川 光則	有限会社友野モータース 代表取締役 友野 修	有限会社野口モータース 代表取締役 野口 明行	羽山信一税理士事務所 所長 羽山 信一	有限会社ピース製菓 代表取締役 角田 吉夫	㈲福山花火工場 代表取締役 福山 一郎	房州瓦斯株式会社 代表取締役 本間 亨	房州物流株式会社 代表取締役 本間 亨	郷産銘菓処 房洋堂 高橋 弘之
株式会社まるい 代表取締役 鈴木日東士	丸高石油株式会社 代表取締役 高橋 幸民	㈲丸村洋服店 代表取締役 中村 優	有限会社三平商会 代表取締役 三平 真司	㈲宮沢書店 代表取締役 宮澤 治海	株式会社もちづき 代表取締役 望月 眞	株式会社望月商店 代表取締役 望月 俊男	有限会社山本商店 代表取締役 山口 正治	㈱ユタカ設備工業所 代表取締役 御子神徳重	渡辺建設株式会社 代表取締役 渡辺 雄二